

## 豊岡市地域包括支援センターの設置状況について

(2020年4月1日現在)

| 名 称   | 人 口<br>(第1号被保険者数)<br>高齢化率            | 要支援・<br>要介護<br>認定者数 | 配置職員  | 設置形態                 |
|---|--------------------------------------|---------------------|---|----------------------|
| 豊岡地域包括支援センター<br>対象区域面積 133.40 k m <sup>2</sup>                  | 40,202<br>(12,164)<br>30.3%<br>港地区除く | 2,102               | 社会福祉士 2<br>看護師 2<br>看護師(嘱託) 1<br>保健師 1<br>主任介護支援専門員 1<br>主任介護支援専門員(嘱託) 1<br>介護支援専門員 1<br>介護支援専門員(非常勤) 2<br>事務(嘱託) 1 | 委託<br>豊岡市社会<br>福祉協議会 |
|   |                                      |                     | <b>小 計</b> 12   |                      |
| 城崎・竹野地域包括支援センター<br>対象区域面積 162.93 k m <sup>2</sup>               | 10,279<br>(4,128)<br>40.2%<br>港地区含む  | 785                 | 介護支援専門員 1<br>看護師(嘱託) 1<br>社会福祉士 1   |                      |
| 城崎・竹野地域包括支援センター<br>竹野分室<br>再掲 対象区域面積<br>102.79 k m <sup>2</sup> | 再掲<br>4,332<br>(1,784)<br>41.2%      | 再掲<br>335           | 社会福祉士 1<br>主任介護支援専門員 1  |                      |
|   |                                      |                     | <b>小 計</b> 5  |                      |
| 日高地域包括支援センター<br>対象区域面積 150.24 k m <sup>2</sup>                  | 16,380<br>(5,536)<br>33.8%           | 1,072               | 主任介護支援専門員 1<br>看護師(嘱託) 1<br>社会福祉士 2<br>介護支援専門員 1<br>介護支援専門員(非常勤) 1<br>事務(嘱託) 1                                      |                      |
|   |                                      |                     | <b>小 計</b> 7  |                      |
| 出石・但東地域包括支援センター<br>対象区域面積 251.09 k m <sup>2</sup>               | 13,555<br>(5,053)<br>37.3%           | 972                 | 看護師 1<br>主任介護支援専門員 1<br>社会福祉士 1   |                      |
| 出石・但東地域包括支援センター<br>但東分室<br>再掲 対象区域面積<br>161.96 k m <sup>2</sup> | 再掲<br>3,978<br>(1,756)<br>44.1%      | 再掲<br>389           | 社会福祉士 2<br>介護支援専門員(嘱託) 1  |                      |
|   |                                      |                     | <b>小 計</b> 6  |                      |
| 豊岡市合計   | 80,416<br>(26,881)<br>33.4%          | 4,931               | <b>合 計</b> 30   |                      |

## 2019 年度 豊岡市地域包括支援センター事業報告

2019 年度 豊岡市地域包括支援センター事業計画を基に以下の活動を行った。

(人数等実績数値は、各年度ともに 3 月末現在)

### 1 総合相談支援業務

方針(1) 高齢者等のさまざまな相談を受け止め、生活環境の実態把握を行い適切なアセスメントを実施する。

ア 相談対応の中で介護保険を申請するか基本チェックリストを実施するかを見極めて適切なサービスや社会資源につなぐ。

#### 【活動実績】

相談時、必要に応じて自宅訪問をし、生活環境を確認しながら丁寧に思いを聴き相手の気持ちに寄り添うことを意識した。課題分析しサービスの意向を確認のうえ、基本チェックリストを実施し、スムーズなサービス利用につなげた。また、インフォーマルな社会資源につなげることにより本人の生活の質の向上につながった。

#### 【課題】

基本チェックリスト実施の方の対応が増えているなか、介護保険申請者の対応や早期介入が必要なケースへの相談対応が追いつかない状況にある。今後、相談受付時に緊急性を見極め、優先順位をつける仕組みが必要である。

方針(2) 支援困難事例に対応するため、多職種協議の場を持つ。

ア 市や地域住民、生活支援コーディネーター、コミュニティワーカー等と連携を図り協働して課題解決に取り組む。

#### 【活動実績】

随時、個別ケア会議を開催し、民生委員児童委員や区長、生活支援コーディネーター、総合相談生活支援センター、行政等必要な関係機関が集まり、支援目標や情報を共有し課題解決に向け役割分担を行い、協働でケースの支援を行った。それぞれの専門性を活かし、本人の意向に沿った支援ができた。

【方法別相談延件数】

|        | 電話     | 来所    | 訪問    | その他   | 合計     |
|--------|--------|-------|-------|-------|--------|
| 豊岡     | 6,789  | 1,129 | 3,697 | 2,546 | 14,161 |
| 城崎・竹野  | 2,069  | 317   | 1,429 | 827   | 4,642  |
| 日高     | 3,178  | 655   | 1,854 | 1,108 | 6,795  |
| 出石・但東  | 2,107  | 455   | 2,830 | 556   | 5,948  |
| 2019年度 | 14,143 | 2,556 | 9,810 | 5,037 | 31,546 |
| 2018年度 | 14,297 | 2,548 | 9,783 | 4,554 | 31,182 |
| 2017年度 | 11,765 | 2,559 | 8,530 | 3,588 | 26,442 |

【内容別相談件数】 ※重複あり

|        | 介護相談  | 総合事業  | 介護予防  | 介護給付  | 入退所・入退院 | 高齢者福祉 | 障がい者福祉 | 保健・医療 | 権利擁護  | 認知症に関する事 | 経済  | その他 | 合計     |
|--------|-------|-------|-------|-------|---------|-------|--------|-------|-------|----------|-----|-----|--------|
| 豊岡     | 1,495 | 2,005 | 3,867 | 331   | 319     | 3,317 | 181    | 955   | 530   | 573      | 162 | 426 | 14,161 |
| 城崎・竹野  | 236   | 547   | 1,911 | 183   | 117     | 789   | 47     | 385   | 110   | 83       | 74  | 160 | 4,642  |
| 日高     | 449   | 1,870 | 2,132 | 417   | 306     | 523   | 102    | 433   | 289   | 166      | 69  | 39  | 6,795  |
| 出石・但東  | 403   | 1,376 | 1,811 | 146   | 312     | 1,012 | 35     | 254   | 226   | 48       | 84  | 241 | 5,948  |
| 2019年度 | 2,583 | 5,798 | 9,721 | 1,077 | 1,054   | 5,641 | 365    | 2,027 | 1,155 | 870      | 389 | 866 | 31,546 |
| 2018年度 | 2,785 | 6,047 | 9,915 | 1,316 | 1,232   | 4,106 | 397    | 1,887 | 838   | 1,217    | 465 | 977 | 31,182 |
| 2017年度 | 2,067 | 6,011 | 8,744 | 1,020 | 788     | 3,289 | 358    | 1,356 | 851   | 775      | 514 | 669 | 26,442 |

【相談者延人数】

|        | 本人     | 家族親類等 | 知人近隣 | 民生委員 | ケアマネジャー | サービス事業者 | 医療機関  | 行政    | 社協    | その他 | 合計     |
|--------|--------|-------|------|------|---------|---------|-------|-------|-------|-----|--------|
| 豊岡     | 4,019  | 3,363 | 189  | 263  | 1,971   | 2,814   | 994   | 1,120 | 351   | 335 | 15,419 |
| 城崎・竹野  | 1,965  | 1,430 | 138  | 67   | 312     | 1,284   | 312   | 469   | 168   | 61  | 6,206  |
| 日高     | 2,618  | 2,114 | 77   | 73   | 682     | 2,222   | 557   | 612   | 243   | 61  | 9,259  |
| 出石・但東  | 3,368  | 2,384 | 113  | 152  | 425     | 1,704   | 559   | 588   | 206   | 219 | 9,718  |
| 2019年度 | 11,970 | 9,291 | 517  | 555  | 3,390   | 8,024   | 2,422 | 2,789 | 968   | 676 | 40,602 |
| 2018年度 | 11,636 | 9,476 | 448  | 568  | 3,777   | 8,368   | 2,507 | 3,110 | 1,149 | 534 | 41,573 |
| 2017年度 | 10,699 | 8,221 | 389  | 596  | 3,254   | 7,202   | 1,820 | 2,899 | 1,321 | 440 | 36,841 |

【対応内容（件）】 ※重複あり

|        | 介護予防ケア<br>マネジメント | 総合相談<br>支援 | 権利擁護  | ケアマネジ<br>メント支援 | 困難事例<br>対応 | 福祉用具<br>住宅改修 | 施設入所 | その他 | 合計     |
|--------|------------------|------------|-------|----------------|------------|--------------|------|-----|--------|
| 豊岡     | 5,237            | 5,574      | 549   | 1,437          | 673        | 360          | 97   | 517 | 14,444 |
| 城崎・竹野  | 2,284            | 1,678      | 122   | 148            | 126        | 133          | 42   | 112 | 4,645  |
| 日高     | 3,883            | 1,734      | 322   | 423            | 138        | 413          | 55   | 26  | 6,994  |
| 出石・但東  | 3,012            | 2,125      | 282   | 97             | 16         | 249          | 28   | 303 | 6,112  |
| 2019年度 | 14,416           | 11,111     | 1,275 | 2,105          | 953        | 1,155        | 222  | 958 | 32,195 |
| 2018年度 | 14,602           | 10,342     | 908   | 2,223          | 977        | 1,042        | 353  | 875 | 31,322 |
| 2017年度 | 13,694           | 8,180      | 944   | 1,989          | 844        | 761          | 265  | 487 | 27,164 |

## 2 権利擁護業務

方針(1) 高齢者虐待対応力の向上を図り、関係機関との連携のもと、適切に対応する。

ア 市と協働し、地域包括支援センターと市担当職員向けの高齢者虐待対応力をつけるための研修会を開催する。

### 【活動実績】

2019年8月29日、高齢者虐待専門職チームを講師として、市職員と地域包括支援センター職員を対象に市と協働で豊岡市高齢者虐待対応研修会を開催した。市職員と地域包括支援センター職員で、虐待対応におけるそれぞれの役割について共通認識を図ることができた。また、新任職員にとっては、対応の流れや帳票の記入方法など基本的な部分を学習する機会となった。

イ 困難事例については、高齢者虐待対応専門職チームを活用して、対応能力をつける。

### 【活動実績】

2019年8月29日、高齢者虐待専門職チームを講師に、豊岡市高齢者虐待対応研修会を実施するとともに、2019年9月12日、10月9日の兵庫県主催高齢者虐待対応力向上研修に参加した。高齢者虐待の最新の動向を学び、基本対応の再確認を行った。また、他市町の地域包括支援センター職員と対応方法等について情報交換し、豊岡市の高齢者虐待対応について権利擁護の視点が持てていることを確認できた。今後も積極的・継続的に研修会に参加して、専門的なスキルを取得する。

## 【課題】

虐待対応は、迅速な対応が必要であり、その中で継続的あるいは一時的に分離が必要なケースも多い。しかし、分離が出来ず対応が困難なケースが多数あり、特に緊急分離の際、受け入れ可能な施設が少ないため、受け入れ施設の基盤整備を行政とともに行っていく必要がある。

ウ 介護支援専門員連絡会で研修会を開催し、高齢者虐待の気づきと通報義務の理解を促す。

## 【活動実績】

2020年1月14日、介護支援専門員連絡会で高齢者虐待のミニ研修会を開催し、虐待通報義務の周知を図った。介護支援専門員に対して『地域包括支援センターに虐待の通報をしたことがあるか』の問いに対して、半数以上の挙手があり、通報義務を理解されていることを確認できた。また、研修会后、介護支援専門員から高齢者虐待の相談があった。

## 【虐待通報件数等】

|        | 前年度から継続 | 通報 | 内虐待認定 |
|--------|---------|----|-------|
| 2019年度 | 15      | 36 | 28    |
| 2018年度 | 9       | 19 | 13    |
| 2017年度 | 9       | 20 | 9     |

## 【虐待対応件数】

|        | 分 離   |       |               | 分離せず            |     | 成年後見<br>制度申立 | 終 結 | 対応継<br>続 |
|--------|-------|-------|---------------|-----------------|-----|--------------|-----|----------|
|        | 特養へ措置 | 養護へ措置 | 入院・施設<br>等へ入所 | 在宅サービス<br>導入調整等 | その他 |              |     |          |
| 2019年度 | 3     | 0     | 17            | 13              | 10  | 4            | 26  | 17       |
| 2018年度 | 2     | 1     | 4             | 10              | 5   | 0            | 7   | 15       |
| 2017年度 | 0     | 2     | 5             | 6               | 5   | 1            | 10  | 8        |

方針(2) 成年後見制度の普及啓発と活用促進を図る。

ア 成年後見制度の相談内容を分析しニーズを把握する。

## 【活動実績】

2018年度、2019年度の2年間にわたり、成年後見制度の相談ケースに関する分析・調査を行った。必要な方に対して制度利用が進まない要因として「申し立て費用が払えない」、

「手続きが煩雑である」「報酬費用が負担である」などがある。また、障害者の方の相談が内7件含まれている。判断能力が乏しい障害者の方には、早期に成年後見制度につなげていけるよう障害者相談支援事業所で成年後見制度の必要性のスクリーニングや申し立て支援をすることが望まれる。

### 【課題】

報酬が払えない低所得者や生活保護受給者は専門職後見人が見つかりにくいという現状があり、誰もが同等に権利擁護の制度が利用できるような仕組みが必要である。

### 【成年後見制度調査（相談）件数】

|        | 豊岡 | 城崎・竹野 | 日高 | 出石・但東 | 合計 |
|--------|----|-------|----|-------|----|
| 2019年度 | 16 | 2     | 2  | 3     | 23 |
| 2018年度 | 14 | 0     | 4  | 5     | 23 |

イ 各種研修会、関係機関等に成年後見制度のチラシを配布し啓発を図る。

### 【活動実績】

2019年12月18日に開催した豊岡市権利擁護研修会において、家庭裁判所作成の成年後見制度のパンフレットを配布し、介護支援専門員、行政職員、施設職員、民生委員児童委員等に制度の理解と啓発を図った。研修会后、成年後見制度の出前講座の問い合わせ等の反響があった。

ウ 事業所や住民向けに出前講座等を開催する。

### 【活動実績】

民生委員児童委員協議会や介護保険サービス事業所等で成年後見制度の説明を行った。

エ 権利擁護研修会を開催し普及啓発を図る。

### 【活動実績】

2019年12月18日、『生活笑？百科 成年後見ってなに？～基本のき 制度を知ろう～』というテーマで兵庫県弁護士会所属 丹有法律事務所 弁護士 馬場民生氏を講師に招き豊岡市権利擁護研修会を開催した。介護支援専門員、民生委員児童委員、医療機関、行政、社会福祉協議会など95名の参加があった。地域包支援センターの社会福祉士7名と弁護士とNHKのバラエティ生活笑百科風にコントなどを取り入れ面白可笑しく行い、『楽しみながら学べた、分かりやすかった』と好評を得た。『後見人が近い存在に感じた』など、成年後見制度を身近に感じる機会となった。

方針(3) 関係機関と連携し、消費者被害に対応する。

ア 但馬・豊岡市消費生活センターと連携し、意見交換、情報交換を行う。

#### 【活動実績】

2019年10月10日、豊岡市消費生活センターとの意見交換会を開催した。直近での消費者被害の現状や傾向の情報提供を受け、ケースを通じての意見交換が行えた。それぞれの役割に応じた連携の在り方を確認できた。

#### 【権利擁護に関する相談件数】

|        | 成年後見制度 | 高齢者虐待 | 消費者被害 | その他 | 合計    |
|--------|--------|-------|-------|-----|-------|
| 2019年度 | 214    | 881   | 24    | 156 | 1,275 |
| 2018年度 | 169    | 604   | 23    | 112 | 908   |
| 2017年度 | 158    | 584   | 28    | 174 | 944   |

### 3 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

方針(1) 介護支援専門員が各関係機関と連携体制を構築できるよう支援する。

ア 介護支援専門員連絡会や各圏域の会議で関係機関と情報共有や意見交換を行う機会を持つ。

#### 【活動実績】

豊岡市介護支援専門員連絡会では、意見交換の手法としてグループワークを積極的に多用し、他圏域の介護支援専門員同士の意見交換を行う機会を持った。そこでは活発な意見交換や情報共有が行われ、連携への意識付けにつながった。

イ 医療介護連携をスムーズに行うために医療関係者とお互いを理解するための機会を持つ。

#### 【活動実績】

医療介護連携をスムーズに行うために「主治医連絡票」の様式の見直しを行った。

また、主治医とのコミュニケーションの取り方について、学習やグループワークを行った。更に、利用者の安全性の確保や、利用者や家族からのセクシュアルハラスメントや暴力に対応できるように、訪問看護師・訪問介護員における2人派遣サービス提供届出書の様式を作成し、介護支援専門員に周知した。

方針(2) 介護支援専門員の質の向上を図る。

ア 対人援助技術を磨くための研修を行う。また、主任介護支援専門員には、管理者としての役割を意識できるよう支援を行う。

### 【活動実績】

2019年7月11日 株式会社ふくなかまジャパン 眞辺一範氏を講師にむかえ、『本人の意欲向上を導くことができる自立支援型ケアプランとは～利用者にとっての自立支援とは何ですか!～』をテーマにした研修を行い、介護支援専門員が改めて医療的視点を持ってケアマネジメントを行う意識付けになった。

2019年10月8日 豊岡市健康福祉部社会福祉課福祉監査室長 大谷賢司氏による、『指定居宅介護支援事業所管理者の心構え』～押さえておくべきポイント～』をテーマに豊岡市主任介護支援専門員ネットワーク連絡会と共同開催し、主任介護支援専門員が管理者としての意識が持てる機会となった。

方針(3) 介護支援専門員が地域の把握や地域とつながる視点をもてるように支援する。

ア 介護支援専門員が地域状況や社会資源を把握できるように情報共有の場を持つ。

### 【活動実績】

豊岡市介護支援専門員連絡会で、認知機能低下がある対象者について、事例検討を実施した。課題や支援方法について検討し、介護支援専門員がどんな社会資源が高齢者支援のために必要と思っているかについて把握を行った。介護に関わる人材の育成や高齢者が活躍できる社会資源が必要であるなどの意見があった。また、意見交換の中で、地域における見守り内容の違いや、地域で利用できるサービス量や種類の差が明らかになった。

### 【課題】

介護支援専門員が把握した社会資源をケアプランに位置付けられるように進めていく。また、高齢者支援のために必要な不足の社会資源の開発を行政と共に取り組んでいくことが必要である。



### 【介護支援専門員支援回数】

|       | ケース<br>検討会議 | 同行訪問 | 個別相談<br>情報提供 | サービス<br>担当者会議 | 合計    |
|-------|-------------|------|--------------|---------------|-------|
| 豊岡    | 60          | 193  | 1,254        | 56            | 1,563 |
| 城崎・竹野 | 5           | 52   | 122          | 5             | 184   |
| 日高    | 61          | 60   | 403          | 19            | 543   |
| 出石・但東 | 14          | 80   | 70           | 27            | 191   |
| 合計    | 140         | 385  | 1,849        | 107           | 2,481 |

### 【介護支援専門員ネットワーク連絡会開催実績】

|       | 回数  | 延参加人数 |
|-------|-----|-------|
| 豊岡    | 5回  | 70人   |
| 城崎・竹野 | 0回  | 0人    |
| 日高    | 4回  | 73人   |
| 出石・但東 | 3回  | 45人   |
| 合計    | 12回 | 188人  |

## 4 介護予防ケアマネジメント業務

方針(1) 自ら進んで介護予防に取り組めるよう自助の意識の向上を図る。  
ア 介護予防について広報・啓発活動を行い、高齢者の自助の意識を高める。

### 【活動実績】

各行政区のふれあいいきいきサロンや見守り会議、コミュニティ主催の教室等に参加し広報、啓発活動を行った。その中で、地域包括支援センターが高齢者の相談窓口という認識につながり、相談も増加している。

認知症の講話、特に認知症予防についての講話を依頼されることが多かったことから、予防について関心が高くなっていることがうかがえる。随時、認知症サポーター養成講座を開催し、介護予防について豊岡市社会福祉協議会の広報誌N I K O (10月25日発行号)に掲載した。

### 【課題】

今後は認知症予防も含めた介護予防について、生活の中に介護予防を意識できるような方法を具体的に伝えていく必要がある。

**イ 高齢者の自立支援につながるよう公的サービス以外のサービスの活用も視野に入れ、多職種との連携を強化する。**

**【活動実績】**

公的サービス以外のサービス、有償ボランティアや買い物付き添いボランティア等の紹介、つなぎを行った。また、利用者に関わる多職種で、本人の移り変わる心情、身体状況などの情報を共有し支援の方向性を考え連携した。

近隣住民、民生委員児童委員、区長などからの相談があったケースでは、現在行っている支援内容、今後の見通しなどをフィードバックすることで地域支援者との関係を構築し本人と地域との連携や見守り・援助につながった。

郵便局や銀行、商店、警察からも情報提供を受け、対応する中で連携強化ができた。

**ウ 介護予防が必要な人を把握し、高齢者が自ら健康増進に興味をもち、自立した生活を継続するために、介護予防の場につなげる。**

**【活動実績】**

運動からだ元気塾の参加者からは「運動の習慣がついて体力が向上した。」「一人で運動するより、集団で運動することにより楽しく運動が出来た。」等の声が聞かれ、健康増進の効果がうかがえた。

豊岡市内ではリハビリ特化型のデイサービスが増加しており、効果を実感する声の広がりから、新たに利用を希望されるケースも多数あった。

**【課題】**

運動からだ元気塾は参加者の口コミで新規利用につながるケースはあるが、サロンや老人会の集まりで元気塾の紹介を行ってもなかなか利用にはつながらない。今後は伝え方を工夫し、『運動からだ元気塾の紹介動画』を作成し周知を進めていく。

**【認定区分別介護予防等サービス計画作成件数】**

|       | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 12月   | 1月    | 2月    | 3月    | 合計     |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 事業対象者 | 286   | 288   | 280   | 299   | 291   | 291   | 294   | 307   | 293   | 293   | 285   | 266   | 3,473  |
| 要支援1  | 660   | 653   | 654   | 675   | 680   | 675   | 690   | 680   | 685   | 666   | 650   | 655   | 6,052  |
| 要支援2  | 361   | 369   | 374   | 376   | 385   | 378   | 388   | 379   | 395   | 387   | 402   | 404   | 3,405  |
| 合計    | 1,307 | 1,310 | 1,308 | 1,350 | 1,356 | 1,344 | 1,372 | 1,366 | 1,373 | 1,346 | 1,337 | 1,325 | 16,094 |
| 豊岡    | 539   | 536   | 544   | 552   | 562   | 546   | 559   | 548   | 577   | 556   | 555   | 550   | 6,624  |
| 城崎・竹野 | 219   | 222   | 220   | 225   | 228   | 232   | 236   | 233   | 234   | 228   | 227   | 230   | 2,734  |
| 日高    | 240   | 243   | 243   | 258   | 263   | 259   | 262   | 260   | 251   | 255   | 261   | 266   | 3,061  |
| 出石・但東 | 309   | 309   | 301   | 315   | 303   | 307   | 315   | 325   | 311   | 307   | 294   | 279   | 3,675  |

【介護予防ケアプラン作成件数】

|                               | 2019 年度 | 2018 年度 | 2017 年度 |
|-------------------------------|---------|---------|---------|
| 指定介護予防支援事業者・<br>地域包括支援センター作成分 | 9,270   | 8,092   | 7,701   |
| 委託事業者作成分                      | 6,824   | 6,820   | 6,347   |

5 地域ケア会議の推進

方針(1) 自立支援型ケア会議を通じて、本人の望む生活の実現とそれに向けたケアプランが作成できるよう、介護支援専門員の資質向上を図る。  
ア 月一回、自立支援型ケア会議を開催し、多職種による検討を行い、介護支援専門員に提案を行う。

【活動実績】

要支援者担当の介護支援専門員に、年1回以上自立支援型ケア会議への参加を依頼し、事例検討を行った。多職種からの提案により、多角的な視点での気づきやアセスメントの幅が広がるなどの効果があった。要支援者を担当していない介護支援専門員に対しては、要介護者の事例について検討を行った圏域もあった。

イ 提案した内容について介護支援専門員にモニタリングを実施し、結果を分析・評価する。

【活動実績】

自立支援型ケア会議の3か月後に、提案した内容の次のプランへの反映状況についてモニタリングを実施した。専門職からの提案内容を活かしたケースと活かせなかったケースについて検討した。その結果、本人の望む生活に向けた実現性の高い提案が出来るよう提案者のスキルアップと、事例提供者と提案者の中で提案内容のすり合わせが必要と分析した。

【課題】

自立支援型ケア会議の中から出てきた地域課題の整理を行っていく必要がある。

【自立支援型地域ケア会議開催件数】

| 豊岡 | 城崎・竹野 | 日高 | 出石・但東 | 合計  |
|----|-------|----|-------|-----|
| 31 | 29    | 31 | 25    | 116 |

方針(2) 個別ケア会議を開催し、ケースの情報共有と課題解決を図る。

ア 個別ケア会議において課題整理を行い、多職種で情報共有、役割分担し、課題解決に向けて検討する。

### 【活動実績】

支援が困難な事例については、地域住民も含め多職種で課題整理を行い、支援目標を共有し役割を分担することで、お互いの顔が見える関係になり、関係機関や地域住民との信頼関係の構築につながった。

### 【課題】

認知症や精神疾患のケースは地域の理解や受け入れが難しいことがあり、コミュニティワーカーや生活支援コーディネーターと連携し、地域住民同士のつながりや特性、いきいきサロンや見守り会議等の住民主体の地域福祉活動の状況を把握しながら住民の理解を広げていく必要がある。

\*コミュニティワーカーとは、住民主体の地域福祉活動を支援する専門職。地域の福祉課題・生活課題を住民自身が把握し、住民の主体的な解決に向けた活動を側面的に援助する。

### 【個別ケア会議開催回数】

| 豊岡 | 城崎・竹野 | 日高 | 出石・但東 | 合計 |
|----|-------|----|-------|----|
| 13 | 4     | 14 | 5     | 36 |

## 6 生活支援体制整備の推進

方針(1) 生活支援コーディネーターと連携し地域における課題解決のネットワークを構築する。

ア 高齢者やその家族を支える地域資源を把握する。

### 【活動実績】

コミュニティワーカーや生活支援コーディネーターと協働し新しい地域資源や情報の把握に努めた。地域の資源を提供しつなげることで、高齢者の生活の質の向上が図れたケースもあった。

### 【課題】

地域資源の情報を提供しても、つながらないこともある。移動手段の問題等、個別ケースの課題を充足できるよう更なる地域資源の開発が必要であるがまだまだ不足している。

イ 住民主体で地域課題を話し合う協議の場に参画し、課題解決に向けて検討する。

### 【活動実績】

地域の支えあいマップ作りや見守り会議・サロン等にコミュニティワーカーや生活支援コーディネーターと一緒に参加し、地域課題の把握に努めた。地域の中での気になる人の情報共有をしたり、住民同士のインフォーマルな支援の把握ができた。

### 【課題】

地域住民が主体的に地域課題を話し合い、解決のための仕組みづくりができるには時間が必要である。見守り会議や協議体において地域課題を整理し、解決に向けた取り組みが進むように、コミュニティワーカーや生活支援コーディネーターと連携して進めていかなければならない。

## 7 認知症施策の推進

方針(1) 認知症について正しい理解の普及啓発に努める。

ア 認知症サポーター養成講座において対象者にわかりやすく伝えるためのツール作成を行う。

### 【活動実績】

認知症サポーター養成講座については、対象者にあわせてツールを変えて実施した。小学生向けには、マンガのテキストを活用した。また、企業向けには寸劇を行い「認知症への対応方法の理解につながった。」との高評を得た。今後も年齢にあわせたツール作成を行い講座に活用していく。

### 【認知症相談延件数】

| 豊岡  | 城崎・竹野 | 日高  | 出石・但東 | 合計  |
|-----|-------|-----|-------|-----|
| 573 | 83    | 166 | 48    | 870 |

### 【認知症サポーター養成講座開催回数】

| 豊岡 | 城崎・竹野 | 日高 | 出石・但東 | 合計 |
|----|-------|----|-------|----|
| 5  | 6     | 3  | 0     | 14 |

方針(2) 認知症の早期発見・早期対応に努める。

ア 認知症初期集中支援推進事業の周知を図る。

#### 【活動実績】

民生委員児童委員・地域住民に『認知症初期集中支援チームがサポートします』のチラシを配布し啓発した。また、居宅介護支援事業所から認知症の相談を受けた際には、必要に応じて認知症初期集中支援事業に関する内容を説明し、利用につなぐことができた。

#### 【認知症初期集中支援対応件数】

|        | 前年度からの継続 | 新規 | 合計 |
|--------|----------|----|----|
| 2019年度 | 3        | 8  | 11 |
| 2018年度 | —        | 8  | 8  |

イ 認知症初期集中支援推進事業のチーム員として、早期に関わることで、適切な医療・介護・社会資源につなぐ。

#### 【活動実績】

受診につながっていないケースについては、まず受診につながるよう支援を行うことが出来た。早期受診と治療により病状が安定したケース、家族の負担軽減につながったケースがあった。検討事例を挙げた居宅介護支援専門員は、支援方法の方向性の再確認が出来たことで、よりよい支援につなげることが出来た。

## 2019 年度地域包括支援センター事業等収支決算集計表

(単位：円)

|                 | 収入          | 支出          | 収支差額       |
|-----------------|-------------|-------------|------------|
| 豊岡地域包括支援センター    | 62,598,542  | 64,713,872  | -2,115,330 |
| 城崎・竹野地域包括支援センター | 36,008,600  | 35,472,677  | 535,923    |
| 日高地域包括支援センター    | 42,529,780  | 37,050,731  | 5,479,049  |
| 出石・但東地域包括支援センター | 42,824,180  | 37,791,182  | 5,032,998  |
| 全地域包括支援センター合計   | 183,961,102 | 175,028,462 | 8,932,640  |

## 2020 年度 豊岡市地域包括支援センター事業計画

### 1 地域包括支援センター活動目標

高齢者が、可能なかぎり住み慣れた地域でその人らしい生活を継続していくことができるよう市や地域住民、関係機関との連携・協働による地域包括ケアシステムの構築に向け、取り組む。

### 2 総合相談支援業務

方針(1) 高齢者のさまざまな相談を受け止め、生活環境の実態把握を行い適切なアセスメントを実施し、スクリーニングのもと対応する。

ア 相談対応の中で、適切なサービスや社会資源につなぎ、総合相談支援対応の終結に向け取り組む。

方針(2) 支援を必要とする高齢者を支える地域におけるネットワーク構築を行う。

ア 地域住民、ボランティア、介護サービス事業者、生活支援コーディネーター等と連携を図り、支援の必要な人を地域の中で支えるネットワークづくりを行う。

### 3 権利擁護業務

方針(1) 高齢者虐待対応力の向上を図り、関係機関との連携のもと、適切に対応する。

ア 高齢者虐待対応力向上研修の参加や高齢者虐待専門職チームの積極的な活用により対応力の向上を図る。

イ 豊岡市高齢者虐待対応マニュアルに沿った対応をすすめ、終結に向けて取り組む。

方針(2) 成年後見制度の普及啓発と活用促進を図る。

ア 成年後見制度の相談内容を分析し、ニーズの把握や制度利用を促進するため課題の把握を行う。

方針(3) 関係機関と連携し、消費者被害の防止に努める。

ア 消費者被害ケースにおいては、消費生活センターにつなぎ、連携して対応を行う。再発防止のために、民生委員や介護支援専門員等と情報共有を行う。



#### 4 包括的・継続的ケアマネジメント業務

方針(1) 介護支援専門員が各関係機関と連携体制を構築できるよう支援する。

ア 介護支援専門員連絡会や各圏域の会議で関係機関と情報共有や意見交換を行う機会を持つ。

イ 医療介護連携をスムーズに行うために医療関係者とお互いを理解するための機会を持つ。

方針(2) 介護支援専門員の質の向上を図る。

ア 介護支援専門員が抱える困難事例について、再アセスメントを行い、支援方法を検討し、専門的な助言指導する中で、介護支援専門員によりそい、支援スキルを高める後方支援を行う。

イ 対人援助技術を磨くための研修を行う。また、主任介護支援専門員には、管理者としての役割を意識できるよう支援を行う。

方針(3) 介護支援専門員が地域の把握や地域とつながる視点をもてるように支援する。

ア 介護支援専門員が災害時の対応策を検討する中で、地域状況等を把握できるような機会を持つ。

#### 5 地域ケア会議の推進

方針(1) 個別ケア会議を開催し、ケースの情報共有と課題解決を図る。

ア 個別ケア会議において課題整理を行い、多職種で情報共有、役割分担し、課題解決に向けて検討する。

方針(2) 自立支援型ケア会議を通じて、本人の望む生活の実現と介護支援専門員の資質向上を図ると共に、地域課題を抽出し整理する。

ア 月1回、自立支援型ケア会議を実施し、他職種による検討を行い、介護支援専門員に提案を行う。

イ 多職種で地域課題を共有し整理する。

#### 6 介護予防ケアマネジメント業務

方針(1) 自立した生活のための能力維持と向上が図れるよう支援する。

ア 介護予防について広報紙による啓発活動、地域の集まりの場で啓発活動をすすめる。

イ 高齢者の自立支援につながるよう公的サービス以外のサービスの活用も視野に入れ、多職種との連携を強化する。

ウ 自立した生活を継続できるよう介護予防の場につなげる。

## 7 生活支援体制整備の推進

方針(1) 生活支援コーディネーターと連携し地域における課題解決のネットワークを構築する。

ア 高齢者やその家族を支える地域の社会資源を把握する。

イ 生活支援コーディネーターと連携し、話し合いの場をつくり、課題の解決に向けた取組みをすすめる。

## 8 認知症施策の推進

方針(1) 認知症についての知識を普及啓発し、正しい理解を深める。

ア 多世代を対象に認知症サポーター養成講座を開催し、対象者にわかりやすく伝え、理解を深めることで、地域で認知症の方を受け止め、見守り・支え合う地域づくりに取り組む。

方針(2) 認知症の早期発見・早期対応に努める。

ア 認知症初期集中支援推進事業の周知を居宅介護支援事業所や民生委員等に行い、早期発見につなげる。

イ 認知症初期集中支援推進事業のチーム員として、早期に関わることで、適切な医療・介護・社会資源につなぐ。

## 2020 年度地域包括支援センター事業等収支予算集計表

(単位：円)

|                 | 収入          | 支出          | 収支差額 |
|-----------------|-------------|-------------|------|
| 豊岡地域包括支援センター    | 66,445,000  | 66,445,000  | 0    |
| 城崎・竹野地域包括支援センター | 34,518,000  | 34,518,000  | 0    |
| 日高地域包括支援センター    | 39,491,000  | 39,491,000  | 0    |
| 出石・但東地域包括支援センター | 40,769,000  | 40,769,000  | 0    |
| 全地域包括支援センター合計   | 181,223,000 | 181,223,000 | 0    |

## 第 1 号介護予防支援事業及び指定介護予防支援事業の一部を 委託できる居宅介護支援事業所について

下記の事業所を「第 1 号介護予防支援事業及び指定介護予防支援事業の一部を委託できる居宅介護支援事業所」とすることについて、ご意見をいただきたい。

### 記

- 1 追加事業所 (1) 居宅介護支援事業所 美そら  
(2) ライフサポートケアプランセンター
- 2 追加理由 新規事業所開設のため

### 3 事業所所在地等

| No. | 事業所名称                | 事業主体              | 所在地         |
|-----|----------------------|-------------------|-------------|
| 96  | 居宅介護支援事業所<br>美そら     | 株式会社<br>ラッキーシーダーズ | 豊岡市立野町14-10 |
| 97  | ライフサポート<br>ケアプランセンター | 合同会社<br>ライフサポート   | 豊岡市福田1296-1 |

※詳細につきましては、別紙に記載しております。

## (1) 居宅介護支援事業所 美そら

- 1 所在地 〒668-0046 豊岡市立野町 14-10
- 2 事業所番号 2874401868
- 3 運営会社名 株式会社 ラッキーシーダーズ
- 4 代表者名 吉盛 文彦
- 5 従業員数 管理者兼介護支援専門員 常勤1名
- 6 提供サービス 居宅介護支援
- 7 サービス開始日 2020年4月1日
- 8 運営の方針

- (1) 事業所が実施する事業は、利用者が要介護状態となった場合においても、可能な限りその居宅において、自立した日常生活を営むことができるように配慮して、その療養生活の支援を図るものとする。
- (2) 利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて利用者の選択に基づき、公正中立な立場で適切な保健医療サービス及び福祉サービスが多様な事業者から統合的かつ効率的に提供されるように努める。
- (3) 事業に当たっては、利用者の所在する市町村、居宅介護支援事業者、地域包括支援センター、介護保険施設、保険医療サービス及び福祉サービスを提供する者との連携に努めるものとする。

## (2) ライフサポートケアプランセンター

- 1 所在地 〒668-0084 豊岡市福田 1296-1
- 2 事業所番号 2874401884
- 3 運営会社名 合同会社 ライフさぽーと
- 4 代表者名 藤原 清明
- 5 従業員数 管理者兼介護支援専門員 常勤1名  
介護支援専門員 非常勤1名
- 6 提供サービス 居宅介護支援
- 7 サービス開始日 2020年6月1日
- 8 運営の方針

- (1) 事業は、利用者が要介護状態となった場合においても、その利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように配慮して行うものとする。
- (2) 事業は、利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて利用者自らの選択に基づき、適切な保健医療サービス及び福祉サービスが、多様な事業者から総合的かつ効率的に提供されるよう配慮して行うものとする。
- (3) 事業の提供に当たっては、利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立って、利用者に提供される指定居宅サービス等が特定の種類又は特定の居宅サービス事業者に不当に偏することのないよう公正中立に行うものとする。
- (4) 事業の実施に当たっては、関係市町村、地域包括支援センター、他の居宅介護支援事業者、介護予防支援事業者及び介護保険施設等との密接な連携に努める。